

記者発表資料	
令和4年4月8日	
担当課 (担当)	地域振興課 漆原 利明
電話	30-8173(内線 2164)

## 移住定住専用ポータルサイト「とっとりコネクト」がオープン

鳥取市に関心を持ち、移住を検討する人へ情報発信するための移住定住専用ポータルサイトを、本日オープンしました。

今後、移住希望者が知りたい情報をより分かりやすく発信することで、本市への移住者の増加につなげてまいります。



コンセプトは

### 「“とっとり”とつながる とっとりコネクト」

鳥取市暮らしの魅力や移住相談窓口とスムーズにコネクト「=つながる」できるサイトを目指します。本市の紹介をはじめ、移住を検討する際に必要な情報や、先輩移住者の声などの移住への不安解消につながる情報をお届けするとともに、様々な相談窓口を通じた鳥取市との“つながり”を促します。

#### 【主な提供情報】

- 移住相談窓口の紹介  
市役所本庁舎の相談窓口に加え、関西事務所、移住交流情報ガーデン、オンラインの各相談窓口を紹介、移住定住専任相談員やコンシェルジュが懇切・丁寧に移住相談に応じます。
- 移住者・定住者の声  
本市の相談窓口を通じて移住された方や、地域で活躍される方々の声を紹介し、鳥取市に移り住んでみての感想や本市の魅力を様々な視点でお伝えしています。
- 動画や画像、SNSの活用  
子育てに関する施策など本市の特徴的な取り組みを伝えたり、本市出身者が地元の魅力や昔の思い出・懐かしさを思い起こしたりしていただけるよう、動画や画像を効果的に活用するとともに、SNSを活用したリアルタイムのとっとり情報を発信します。
- 麒麟のまち連携  
麒麟のまち圏域の魅力を紹介するコーナーを設けるほか、公開可能な空き家情報を一元的に提供します。



## 【現状と背景】

### ●移住者数の推移

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度
窓口対応延べ件数	920 件	1,119 件	899 件	1,000 件
窓口相談登録世帯数	389 世帯	449 世帯	223 世帯	180 世帯
窓口移住者数	341 世帯 464 人	262 世帯 359 人	279 世帯 389 人	280 世帯 400 人

※令和 3 年度は見込

コロナ禍により都市圏での対面相談会が中止となるなど、相談登録数への影響はあるものの、移住者数についてはコロナ前と同程度で推移しています。オンライン相談会への出展やオンライン相談窓口の設置により、地方移住に関心を持つ方々とのつながりを作ることができていると考えています。

### ●地方移住への関心の高まり

内閣府の調査では、大都市圏から地方への移住に対する関心の割合が全年齢層において高まっており、特に若者世代においてその傾向は顕著となっています。そうしたニーズに応え、移住検討先として選んでいただくために必要となる情報の発信力強化がより重要と考えています。

※内閣府：新型コロナウイルス感染症の影響下における生活意識・行動の変化に関する調査

### ●移住定住ポータルサイトを活用した情報発信へ

これまで、移住定住に関する情報は鳥取市公式ウェブサイト内や移住交流情報ガーデンのHP、SNS など分散して発信してきましたが、一元的で分かりやすい移住定住情報を提供するため、専用ポータルサイトを立ち上げました。

## 【移住定住に関する鳥取市の取り組み】

### ●相談窓口による支援体制の充実

平成 18 年の窓口開設以降、移住希望者に寄り添った対応を行い、現在、本庁舎に 3 名、関西事務所に 1 名の専任相談員を配置。駅前の移住交流情報ガーデンには 3 名のコンシェルジュを配置し、様々な相談に対応しています。

相談窓口にはフリーダイヤルを設置しているほか、ポータルサイトを通じての問い合わせやオンライン相談の申込みにも対応しています。

### ●相談窓口における主な支援内容

専任相談員が職業紹介や子育て、住まいに関する相談等に対してワンストップで対応し、各担当機関へスムーズにお繋ぎしています。また、移住後の支援として、移住者向けの交流会・相談会などを移住・交流情報ガーデンで開催しています。ガーデンではインターネットを活用した情報発信も担っており、本ポータルサイトの管理運営も行っていく予定です。

### ●その他各支援制度の充実

U ターン希望者へ移住情報の提供を行う登録制度や若者世代や東京圏からの移住者等を対象とした補助制度などに加え、お試し定住体験施設の運営や空き家の利活用など、地域と連携した取り組みにも力を入れています。